



最初にお読みください



RGW5000 シリーズリリースノート

この度は、RGW5000 シリーズをお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解
いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 1.2

2 本バージョンで追加された項目

ファームウェアバージョン 1.1.1 から 1.2 へのバージョンアップにおいて、下記の項目が
追加されました。各機能の詳細については、「RGW5000 シリーズ設定マニュアル Ver1.2 対応」
をご覧ください。

2.1 MAC アドレスフィルター機能

参照 「設定マニュアル」 16、17 ページ

本製品に MAC アドレスを登録している無線端末以外のパケットを破棄する機能をサポート
しました。設定は wireless macfilter/wireless macfilter add/wireless macfilter delete/show
wireless macfilter コマンドを使用します。

2.2 AP 間通信フィルター機能

参照 「設定マニュアル」 17、18 ページ

MAC アドレスが登録されている AP のみと通信を行い、登録されていない AP からのパケッ
トを破棄する機能をサポートしました。設定は wireless wdsfilter/wireless wdsfilter add/
wireless wdsfilter delete/show wireless wdsfilter コマンドを使用します。

2.3 ステルス AP 機能

参照 「設定マニュアル」 18 ページ

無線タイプがアクセスポイント (ap) の場合、SSID 情報をビーコンにのせない機能をサポート
しました。この機能を有効にすると「SSID」を「Any」としている端末から本製品への接続
はできません。設定は wireless ssidsuppress コマンドを使用します。

3 本バージョンで修正された項目

ファームウェアバージョン 1.1.1 から 1.2 へのバージョンアップにおいて、下記の項目が修
正されました。

3.1 AP 間通信について

AP 間通信において、無線端末の MAC アドレス情報が本製品に間違っって登録されてしまい、
アクセスポイント間の通信ができなくなる場合がありますでしたが、これを修正しました。

3.2 ブリッジモードにおける AP 宛のパケットについて

ブリッジモードにおいて、無線端末からアクセスポイント宛てにパケット送信した際、そのパケットがアクセスポイントで受信されない場合がありますでしたが、これを修正しました。

3.3 ブリッジモードにおいて有線 LAN を接続していない場合の動作

ブリッジモードにて有線 LAN を接続していない状態で無線テストコマンド (wireless txtest) を実行すると、次のエラーメッセージが表示され、無線通信ができない現象がありました。これを修正しました。

```
WARNING: mclpool limit reached; increase NMBCLUSTERS
```

3.4 show nat コマンド実行後の、特権モード用コマンドの動作

ユーザーモードにて show nat コマンドを実行すると、その後、特権モードのコマンドが実行できてしまいましたが、これを修正しました。

3.5 DHCP クライアントが Expire されない問題

show dhcp コマンドで表示される DHCP クライアントが、DHCP Request を受ける度にクライアントリストに追加され、Expire できませんでしたが、これを修正しました。

4 本バージョンでの制限事項

ファームウェアバージョン 1.2 には、以下の制限事項があります。

4.1 DHCP リレーエージェント設定の確認

dhcp relay コマンドで DHCP リレーエージェントを設定後、restart コマンド (再起動) を実行すると DHCP リレーエージェントは正常に動作しているが、show setup で表示される DHCP リレーエージェントの状態が「disable」となります。

DHCP リレーエージェントの状態は、show config で確認してください。